

# いちようだより

2018年7月23日  
天童中部小学校  
校長 大谷敦司

## 1学期を振り返って

4月、希望に胸を膨らませた1年生の入学式からおよそ4ヶ月が過ぎ、あと1週間で1学期が終わろうとしています。桜の開花を待ちかねていたのが、ひまわりの成長に驚く頃となり、季節の変化も感じます。

学校は子供たちのいのちをお預かりしており、何よりも「安心・安全」が優先されると考えています。その意味で、大きな事故・事件等がなく、無事に終業式を迎えられそうなことを一番喜んでいきます。保護者の皆様方は勿論、地域の方々のご協力をいただきました。御礼申し上げます。

5月の教育活動説明会でも申し上げましたが、本校では「やさしく・かしこく・しなやかに」を目指す子ども像にしています。総括的に見れば、お陰様で、子供たちは落ち着いて学校生活を送っており、これらの目指す子ども像に合致して力を伸ばしていると考えています。

現在、各学級担任が、一人一人の子供のがんばりをまとめているところです。さらに、評価をした結果、もう少し力を伸ばせそうだとするところを明らかにして手立てをとっているところです。今学期をまとめた通知表は、子供たちががんばりをひとつの形にしたものであり「これから頑張る方向性を示す」ものです。通知表を子供たちと一緒にご覧いただき、伸びを認め、自信を深め、励ます材料にさせていただきたいと思っております。

では、ご面倒をおかけいたしますが、下記へのご来校をお待ちしております。



デジタル黒板を  
活用した授業風景

**7月26日(木)通知表配付・学級懇談会** (※詳細につきましては、先日配付のご案内をご覧ください)

①下学年 13:15～    ②PTA研修会 14:30～    ③上学年 15:35～

## 夏休みを前にして

1学期の終業式は27日で、翌28日から8月22日まで26日間の夏休みに入ります。夏休みは、日ごろ学校がお預かりしている子供たちを各ご家庭にお返しすることになります。この期間にしかできないこともたくさんありますので、有意義な時間を送ることができるように子供たちと生活についてお話をさせていただきたいと思っております。

さて、先日、昨年度の全国学力・学習状況調査(いわゆる「全国学力テスト」。全国の小学6年生及び中学3年生全員が調査対象)における「保護者に対する調査」について、お茶の水大学に分析を依頼していた結果を文部科学省が公表しました。

このところ、新聞等でも、この公表からの論考を載せている記事・ニュース等があり、知らず知らずに目になさっていることと思います。

内容を以下に抜粋します。

○保護者の適切な働きかけは、子供の「非認知スキル」(※)を高める傾向があり、小学生でより強い影響がある。

＜「非認知スキル」の向上を規定する主な保護者の働きかけ＞

- ・子供のよいところをほめるなどして自信を持たせるようにしている。(小6・中3)
- ・子供に努力することの大切さを伝えている。(小6・中3)
- ・子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。(小6・中3)
- ・地域社会などのボランティア活動等に参加するよう子供に促している。(中3)

○家庭環境と子供の学力については、以下の場合に、子供の学力が高い傾向がある。

＜保護者の働きかけ＞

- ・学校の出来事、友達のこと、勉強や成績のこと、将来や進路、地域・社会の出来事やニュース等での会話が多い。
- ・テレビ・ビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間などのルールを決めている。
- ・子供に努力することの大切さを伝えている。
- ・子供に最後までやり抜くことの大切さを伝えている。

＜保護者の教育意識や諸活動への参加＞

- ・将来、子供に留学してほしいと思っている。
- ・自分の考えをしっかりと伝えられるようになることを重視している。
- ・地域や社会に貢献するなど人の役に立つ人間になることを重視している。
- ・保護者自身がPTA活動や保護者会などに参加をしている。

#### ※「非認知的スキル」

自制心や意欲、忍耐力などを示す概念。一般的に、「非認知的スキル」を高めることができれば、学力を一定程度押し上げる可能性があると考えられている。

いかがでしょうか。他にもたくさん記載があります。もっと詳しく調査結果をご覧になりたい方は、国立教育政策研究HPに掲載されるそうですので、適宜ご参照ください。

それらの中で、学力と相関関係があるとされていたのは「規則的な生活習慣を整える」ということでした。夏休みはどうしても生活リズムが崩れがちになりますので、この点については、是非励ましていただきたいと思います。

本校のホームページも随時更新していますので、ご覧ください。